

清水議長殿

公明党会派視察研修報告書

報告日

報告者 甲斐市議会公明党 保坂芳子

日程 令和元年 10月 7日(月)～ 10月 8日(火)

内容 1日目

西宮市情報センター「被災者支援システムについて」
(兵庫県西宮市宮浜1丁目31番地西宮浜産業交流会館)

- 1、危機管理と情報システム(阪神・淡路大震災での実践的危機管理対応)
被災者支援第一義と現場至上主義の理念により震災業務支援システムの開発へ
- 2、危機管理下における情報システムの重要性を国に訴え総務省が全ての自治体にこの「被災者支援システム」を無料配布した。
- 3、最近の取り組み実態について
大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号からの被災者支援システム支援要請。
関東東北豪雨(常総市の支援要請と対応)
熊本地震(その経緯と顛末)
鬼怒川氾濫の教訓より狭山市長からの緊急招聘
命を守る危機管理対応とは。
本市においても「被災者支援システム」が本年度導入されるが、開発した西宮市へ伺い、今後大災害があった時迅速に罹災証明書をまず発行するには、全庁挙げて取り組む必要性を感じた。講演会を開き説明を受けるように推進したいと思う。また今後の課題としてGISと連携することで更に力を発揮することも分かった。

2日目

三重県立子ども心身発達医療センター「発達支援及びCLMについて」
CLM(チェック・リス・in三重)は、保育所・幼稚園に通う気になる子の行動を観察し、「個別の指導計画」を策定するために開発されたもの。三重県では途切れない支援システムの構築を目指している。子供の気になる行動に対し、医療機関を受診する前に、日ごろ子供が生活している保育所、幼稚園、学校等で適切な早期支援を行うことによって問題行動の予防軽減が期待できると考え、子ども心身発達医療センターの治療・発達支援などの技術を市町の保健・福祉・教育などに普及している。

本市においても取り入れられる部分があれば、委員会等で推進していきたい。